事例No.	2151
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	千葉県木更津市

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・教育・子育て ・ICT

事例種類	地域におけるデジタル人材の育成

事例内容・タイトル

親世代の市民等がプログラミングを学ぶ講演会を開催

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

171 親世代の市民等がプログラミングを学ぶ講演会を開催【千葉県木更津市】

事業の概要

○　千葉県木更津市では、令和３年10月に現役世代が「プログラミングとはなにか」を学ぶ機会として、市民に身近な公民館で「デジタる！大人の為のプログラミング講演会」を開催した。

○　教育課程においては、プログラミング授業の必修化により、デジタル・プログラミング等が身近なものになっている。市では、これまでプログラミングを学んだことのない親世代の市民等のデジタルへの理解を促進することにより、ICT教育を受けて育つ子世代との知識ギャップを埋め、社会のデジタル化を促す狙いがある。

○　なお、講演会においては、参加者し、プログラミングを講演内で実際に体験した。



チラシ

【参考情報】 人口：13.6万人
関連URL：https://www.youtube.com/watch?v=t28TVyLa9g4
（youtube）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



デジタル社会では継続的な学び直しが必須のものになると考えたのですが、同時に、公民館で接する地域の暮らしとデジタルの間にはまだ乖離があり、デジタルを自分自身が参加するものとして感じられる取組が必要ではないかという感覚がありました。

そこで、『プログラミングは地元の公民館でも気軽に学べるくらい身近』という既成事実を作ってしまおうと思い、地域におけるデジタルリテラシーへの取組の第一段階として本講座を企画しました。

（木更津市）



参加者の反応はどうでしたか？



これからの子どもがどんな風に育つのか楽しみになったというような声も聞かれ、デジタルを生活に身近な存在として感じてもらうことには成功したと考えています。



これから事業を考えている自治体に向けて一言お願いします。



『いかにもアナログの権化』といったイメージの公民館がデジタル化すれば、様々な方面へのインパクトが生まれると考えます。公民館が様々な部局と連携することで、実際生活に即した取組が増えていくことを希望します。

★担当：木更津市教育委員会 中央公民館★

令和3年度事業費　15千円